
教育総合センター だより

NO. 116

平成 22. 5. 1

心のよりどころとしての人と場

尼崎市立教育総合センター

所 長 西本 由美



少子化、高度情報化、共同性の低落など社会が急速に変化している中で、いじめや不登校、暴力、非行、虐待など、子どもを巡る問題は複雑・多様化しています。学校においても、不登校の子どもの母親が精神的な病を抱え家事ができない場合や、父親が失業中で家計が逼迫している事例など、同時に多くの問題を抱え、担任や学校だけでは対応が難しい事例が増えています。問題の「早期発見・早期対応、子どもや家庭へのきめ細かな支援が重要」であり、校内だけでなく、福祉をはじめ関係機関との連携が強く求められています。

教員や学校に寄せられる期待はさらに膨らみ、教職員の研修や自己研鑽を支援する教育総合センターの役割はますます重要性を増しています。

平成22年度、教育総合センターは、これまでの研修担当と情報教育担当に加え、教育相談担当が加わりました。学校のニーズに応え、教職員の資質向上を目指す「研修」、情報機器の活用を進め情報教育を推進する「情報」に、子どもや保護者の教育上の問題解決を支援する「教育相談」を加えた3つの柱で子ども・家庭・学校・教職員への支援を総合的に展開することになりました。

ところで、教員は子どもの前に立てば初任者もベテランも同様に「先生」と呼ばれ、その職責を果たすことが求められます。教

師としての成長・発達には、子どもや保護者、同僚との関係の中で鍛えられることが必須ですが、研修や自己研鑽の果たす役割も大きいものです。

教育相談一筋に学んできた私ですが、そのきっかけは、学校が校内暴力に揺れ、「登校拒否」と呼ばれる生徒が身近に現れ始めた頃、新聞広告でカウンセリングの講座を見つけ、通い始めたことでした。カウンセリングの手法や考え方が、生徒との関わりへの突破口になると考えたからです。もし、あの時、受講を決意しなければ、その後の多くの人々との出会いもなく、私の教育観・子ども観も現在とは全く異なったものになっていたでしょう。まさに、人生は選択と出会いの中で紡ぎ出される独自の織物ともいえます。

あれから30年、今日まで学び続けてこられたのは、様々な場で共に学ぶ仲間や先生方と出会い、ふれあい、支えていただいたからに他なりません。

国立教育政策研究所生徒指導研究センターの「不登校への対応と学校の取り組みについて—小学校・中学校編—」(2004.6)の中に、「心のよりどころとしての人と場所をもつことは重要である」とあります。教育総合センターが、尼崎で学び続ける先生方の心のよりどころとしての人と場となるよう、微力ながら力を尽くしたいと考えています。

☆☆☆ 教育総合センターの事業の概要 ☆☆☆

教育総合センターは、中核市移行2年目を迎えた今年度、研修、情報教育、教育相談の3担当になりました。

1 研修担当

研修担当は、研修業務と教育研究業務に取り組んでいます。

(1) 受講しなければならない研修

校・園長研修など職階別研修、ミドルリーダーなど職務に応じた研修を実施します。教職年数別研修では、5年目までで総合的な授業力を育成するよう計画的に配列しています。中学校の学力向上に寄与するため、授業力向上に向けた3回シリーズの講座を新設しました。

(2) 希望による研修

学校現場が抱える諸問題の解決をサポートするため多様な研修講座を次の分野別に設定しました。

(ア) 今日的課題に対応した研修

(イ) 子ども理解のための研修

(ウ) 教科等の指導力向上を目指した研修

今日的課題に対応した研修では、大型テレビ、教育用PCの導入に対応した研修の充実に努めます。授業実践力の確かな育成を図るため公開授業講座を増設します。3年目教員には、授業者の決定から反省まで全てに参画する研修を地区ごとに実施します。さらに、マイスター教員による公開授業も増設します。若い同世代の授業は、日々の授業改善に役立て、マイスターの授業は、理想の授業像を確立するために役立てていただきたいと考えています。

(3) 特別に実施する研修

特別に実施する研修ではICT関連研修、特別支援教育コーディネーター研修を予定しています。さらに、喫緊の課題に応じた研修を実施します。

(4) 自主研修等の支援

夜間及び休日に実施する自主研修支援を継続します。昨年度は、青少年センターを拠点としたスポーツ活動のグループ、パソコンを使った事務の効率化研修を支援しました。新たな活動グループを期待しています。

また、学校ICT機器の効果的な活用、個別ドリルシステムの活用、学校・園ホームページ作成を支援する研修等で、指導主事を学校・園に派遣し、出前講座を実施します。

(5) 教育研究

教育長から委嘱を受けた教員が研究員となり、当センターの担当指導主事と共同で、実践的な研究に取り組みます。年度末に各部会による研究発表会を予定しています。

2 情報教育担当

学校ICT・学校情報通信ネットワークシステムの活用推進に向け取り組みます。

(1) 学校ホームページ関係

- ・申請受付処理、更新（随時）、学校・園ホームページ作成支援研修など

(2) 研修関係

- ・教育用システム管理
- ・プレゼンテーション入門
- ・小学校初任者対象の情報教育研修
- ・情報モラルセキュリティ入門
- ・表計算ソフト活用
- ・コンテンツマネジメントシステム
- ・視聴覚教材作成講座ービデオ編集等
- ・学校事務処理支援システム

(3) 学校ICT関係

- ・学校ICT活用特別研修
- ・ICT機器・校内LAN等の整備推進

(4) AMA-NETの管理

- ・サーバ、ネットワーク、メール等
- ・データベース管理

3 教育相談担当

教育相談担当8名は、子どもたちが心身ともに健やかに育っていくことを願い、子どもや家庭、学校を支援する立場で充実した対応を図って参ります。

(1) 事業内容

① 教育相談事業

面接相談、電話相談、出張相談等により、幼児児童生徒（4歳～18歳までの子ども）の望ましい発達を支援します。心療内科医による教育相談も行います。

② 高等学校カウンセラー派遣事業

市立高等学校にカウンセラー等を派遣し、教職員の研修や心の悩みをもつ生徒及びその保護者の面接相談等を行います。

③ スクールカウンセラー配置事業

県教育委員会が、19全中学校及び8小学校にスクールカウンセラーを配置します。通学区域の小学校も活用できます。

(2) 教育相談の現状

平成21年度の相談件数及び活動内容は次のような状況です。

① 面接相談（延べ）	3,249 件
電話相談	1,468 件
② 出張相談	
幼児児童生徒対象	322 件
子育て研修会等講話	14 件
③ 面接相談内容	
精神情緒（不登校等）	34.3%
性格行動（友人、親子関係等）	55.9%
身体言語（発達遅滞等）	2.3%
学業進路（進路等）	4.5%
その他（教員の相談等）	2.9%

フィルム・ライブラリーのご案内

視聴覚センターでは、視聴覚教材・教具の貸出しや活用の助言等を行っています。

1 利用時間 9時から17時まで

（土・日・祝日、年末年始を除く）

2 学校関係者が利用する場合

(1) 貸出しの申込み

申込書に必要事項を記入し、利用される3日前までに視聴覚センターに提出してください。

(2) 貸出し数量・期間

教材 1回につき4本以内で4日以内

教具 1回につき1台（式）で4日以内

(3) 利用報告書の提出

視聴覚教材・教具利用報告書に記入し、これを添えて提出してください。

3 16ミリ教材・教具の貸し出し

16ミリ映写機及び16ミリ映画フィルムの貸出しについては、当センター発行の認定証又は16ミリ映写機操作技術講習会を受講したことを証明する物を所持している方が対象になります。

4 その他

申込み等の用紙は視聴覚センターまで

※ 問い合わせ先 TEL 6423-3400

貸出し対象の教材・教具

教材	16ミリ映画フィルム	390本
	スライドフィルム	16巻
	ビデオテープ（録画教材）	660本
	T P教材	9本
	C D	8本
教具	D V D	7本
	16ミリ映写機	10台
	スライド映写機	1台
	オーバーヘッド投影機	1台
	スクリーン	12枚
	暗幕（2m×4m）	7枚

教育総合センター事務分掌表

平成22年4月1日現在

教育総合センター所長 西本 由美

研修担当 TEL 6 4 2 3 - 3 4 0 0		
※教職員研修 ※教育に関する調査・研究・教材開発 ※教育総合センターの運営・計画調整 ※予算管理 ※文書管理 ※教育情報収集・整理・提供 ※情報誌の発行 ※教科書センターの管理		
係 長	大平 誠也	研修担当の統括、校園長研修、特別研修、児童生徒文化充実支援事業 教育総合センターの運営・計画調整、予算・管理
指導主事	樋口 博子	養護教諭、10年経験者、1年目教員公開授業、マイスター(小)、派遣研修
指導主事	兼田 隆男	新任校園長、5年目教員、20年目教員、マイスター(中)、2年目教員公開授業、英語
指導主事	魚住 誠	ミドルリーダー、常勤臨時講師、管外転入教員、中学校理科、数学、 4年目教員公開授業、マイスター(中)、中学校全体教科研究会
指導主事	寺田 忠司	外国語活動担当教員、初任者、2年目教員、4年目教員、3年目教員公開授業 15年目教員、マイスター(小)、県立教育研修所関係、児童生徒文化発表会
主 任	高橋 正広	予算・決算、複合施設の維持管理、庶務
嘱託員	織田 耕作	情報誌の発行、学級経営相談、生涯学習施設連絡会議
嘱託員	幾田みよき	資料の収集・整理・提供、教科書センターの管理
臨時職員	久保 泰子	管理業務事務補助

情報教育担当 TEL 6 4 2 3 - 3 4 0 0		
※教職員研修 ※情報教育に関する調査・研究・教材開発 ※ICT活用・ネットワークシステム活用 ※複合施設の維持管理 ※視聴覚センターの運営・計画調整		
総括・ 係長	松田 光二	情報教育担当の統括、研修管理、視聴覚センターの運営・計画調整 ICT関係、文書主任
指導主事	大濱 洋治	新任管理職PC、AMA-NETの管理（ネットワーク・メール・データベース等）
指導主事	藤井健三郎	個別ホームページ、中学校PC
指導主事	田中 東吾	ドリルシステム、小学校PC、特別支援学校PC、琴城分校PC
指導員	多田 健次	情報教育に関する調査・研究・教材開発
嘱託員	倉橋 忠	学校事務処理支援システム関係、視聴覚ライブラリー管理、16ミリ映写機操作技術
臨時職員	山口亜紀奈	情報教育ネットワーク管理事務補助

教育相談担当 TEL 6 4 2 3 - 2 5 5 0		
※教育相談（面接、出張） ※高等学校カウンセラー派遣事業 ※心療内科医による教育相談 ※電話相談 ※スクールカウンセラー配置事業 ※教育相談に関する調査・研究・研修		
係 長	荒木 伸子	教育相談の統括
指導主事	吉田 幸嗣	教育相談、高等学校カウンセラー派遣事業、スクールカウンセラー配置事業
嘱託員	岡本 敦	教育相談、調査研究
嘱託員	田中 優喜	教育相談、調査研究
嘱託員	立花 直子	教育相談、調査研究
嘱託員	清水 陽三	教育相談、調査研究
嘱託員	奥田 佐恵	電話相談、調査研究
臨時職員	松田美枝子	電話相談、調査研究

開 館 時 間 ご 案 内	発 行
平日 午前9時～午後9時 (土・日・祝日・年末年始は利用できません。)	尼崎市立教育総合センター 尼崎市三反田町1丁目1番1号
	発行者 西本 由美
	題 字 尼崎市教育委員 岡本 元興